

第3回学校運営協議会 報告

【日 時】平成31年3月6日 15時半～16時半

【出席者】学校運営協議会委員：伊東義輝（大阪成蹊短期大学）

須貝昭子（NPO 法人：市民活動フォーラムみのお）

浅井隆志（箕面市立第六中学校校長）

岩田美穂（本校PTA会長）

篠崎 朗（本校同窓会会長）

*小山正辰（森ノ宮医療大学） 欠席

校 長：國守正二

事務局：川上慶次郎（教頭）、堀 茂樹（教頭）、今西隆司（事務長）、長崎 孝（首席）、
室田真幸（首席）、佐藤隆夫（3年次主任）、野田恒三（進路部長）

【説明・報告事項】

1. 今年度の進路状況（資料：別紙）

進路部長 より

- ・OB、OGを呼び、2年生にコース別説明会を行ったが、卒業生の成長ぶりに驚いた。
- ・ES01期に比べ、ES02期生は大学進学者数が減ったが、生徒の目的や目標に合わせているため、憂慮はしていない。

3年次（ES02期）主任 より

- ・アルバイト、その他の割合を減らしたい。
- ・しかし、目標のためにアルバイトをしている生徒も多く、数字では伝わらない部分がある。
- ・奨学金をもらって大学や専門学校に行く生徒が多いため、奨学金関連のサポートが必要。

【協議事項】

1. 平成30年度「学校経営計画および学校評価」

校長より（資料：PowerPointのスライド、および別紙）

- ・授業アンケートの全項目平均値が3.35と大きく上昇した。
- ・キャリア教育の一環で、今年度も会社の社長を呼び、生徒と話をする機会を設けた。
- ・全校集会において、部活動表彰等を行った。
- ・不登校の割合は、昨年度と同程度だった。
- ・志願者数は前年度に比べて減少した。

<質疑応答>

- ・委員「モジュール授業の評判が良いが、具体的な事例はあるか？」

→校長「わかる喜びが増えたという声がある。しかし学び直し明けの2年次をどう乗り越えるかが課題。」

- ・委員「やる気のある生徒に対して個別指導を行っているか？」

→校長「放課後等に指導を行っている。また、自習室の利用もすすめている。」

※委員よりモジュール授業の成果について補足

「箕面六中の卒業生で、学校へ行かない⇒授業がわからない、のサイクルだったが、モジュール授業のおかげでわかるようになったという生徒がいた。その後大学進学まで目指すようになり、その生徒の兄弟も箕面東に

入学したいと言うようになった。」

・委員「このような事例を学校 HP 等で紹介できないか？」

→校長「学校 HP を見てもらえてないという現実があり、SNS も利用できないという決まりがあるため、なかなか難しい。」

2. 学校教育自己診断アンケート結果

校長より（資料）

- ・生徒用（8）（9）について、家庭学習の割合微増だが、厳しい状況が続いている。
- ・保護者用（17）について、なかなか学校 HP を見てもらえていないという現実がある。
- ・教職員用（8）（19）について、清掃があまり行き届いていない。働き方改革も実感できていない。
- ・回答しやすいように質問数を減らした。
- ・めいぷるカフェで、教室等に居づらい生徒の居場所を確保できている。
- ・部活動加入率が40%を下回ったが、生徒の意欲だけでなく、家庭の経済状況の影響と考えられる。
- ・校則について、生徒と教員が話し合う機会が必要かもしれない。
- ・トイレについての不満は多いが、工事の順番が回ってこないという現実がある。

<質疑応答>

・委員「家庭学習を全くしない生徒とはどういうことなのか？」

→校長「いわゆる ノー勉 の生徒がいるが、その割合は減ってきている。」

→委員「中学生の頃の習慣をなかなか変えられないのでは。」

→教頭「テスト勉強を学校で行っている生徒も、そこに含まれているかもしれない。」

3. 平成 31 年度「学校経営計画」

校長より（資料：別紙）

- ・3点、大きく変わった項目について
 - ⇒2-5 働き方改革をすすめていきたい。
 - ⇒3-2（1）防災教育に力を入れていく。
 - ⇒3-5（1）クラブ活動についての見直しで、働き方改革をすすめていく。
- ・他府県からたくさんの学校が、本校の様子を見学しに来ている。
- ・中学校の教員は本校についてよく知っているが、中学生のもとには情報が届いていないかもしれない。
 - ⇒オープンスクールで本校の様子を見てもらうことを目標にしていく。

<質疑応答>

・委員「防災教室を2年前から地域ですすすめてきたが、高校生ともなるともっと何かできるのでは？」

→校長「ぜひ検討していきたい。」

※平成 31 年度 第 1 回学校運営協議会は、7 月 5 日（金）の予定